

NY国際現代家具フェア

ジヤパン・バイ・デザイン

日本貿易振興機構(ジエトロ)は経済産業省とともに「ニューヨーク国際現代家具見本市(ICC F F、5月16日〜19日、ジヤピッツ・センター)において「ジヤパン・バイ・デザイン」と題した展示会を開催した。世界的に注目を浴びる同見本市で、デザインに優れた日本製品のイメージ向上とビジネス開発を狙い。展示会は「感性」と銘打った日本製品展示と商談促進のための「ジヤパン・バイ・デザイン」の2つで構成。「感性」では、121作品を「かげろう」「にしき」など12の「和



展示品を前にプレシャス・ピース小平伸浩社長(左)と藤井健太郎日本和装USA社長

きもので家具

和紙でインテリア

第21回国際現代家具フェアにはアメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界34か国から552社が出展した。今回の国際現代家具フェアでは、日本和装USA(藤井健太郎社長)の1部門「Kimono NY」が、伝統的な日本

のきももの織物を使った家具、インテリア製品の制作・普及・促進を目指すし、今回初めて西陣織物の帯地を使った斬新的なチェア2点を発表した。デザインは、ウイリアム・ゴードン氏。制作はブルックリンの家具メー

カー、ウォルター・P・ソーサーが担当した。また、和紙を使った様々なインテリアを手掛けているプレシャス・ピース(小平伸浩社長)は、壁面一杯に大型のウォール・アート(10フィート×6フィート)を展示。和紙を使ったパネル・スライドやドアなど、珍しい和紙のインテリアに入場者の関心が集まった。